

生命と死を考える

科目責任者 馬 籠 信 之
学年・学期 1 学年・2 学期

I. 前 文

「生」と「死」について考えてみます。「生命とは何ですか?」「生物と非生物の違いは何ですか?」と改めて問われると、実は、回答に困ります。このような問いに対して、思考実験や調査から、自分の考えを明確化してみます。他者との議論を通じて、自分なりの「生命観」や「死生観」を考えるきっかけとして下さい。

II. 担当教員

教授 山 口 重 樹 麻酔科学
准教授 馬 籠 信 之 基盤教育部門 化学

III. 一般学習目標

1. 「生」と「死」の違いを考える。
2. 各自での「死生観」を考える。
3. 痛みや緩和ケアについて知る。
4. 議論を通じ、自分と他者の違いを理解する。

IV. 学修の到達目標

1. 自身の設定した課題に関する資料を調査できる。
2. 自分の意見を主張し、他者と議論ができる。
3. 自分なりの生命観を持てる。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	7	8	水	5	ガイダンス	馬 籠 信 之	1
2		15	水	5	生命とは?	馬 籠 信 之	2,3
3	8	19	水	5	「死」を意識する	山 口 重 樹	1,3
4		26	水	5	生物らしくみえること	馬 籠 信 之	1
5	9	2	水	5	もしも「不死の体」になったら?	馬 籠 信 之	2,3
6		9	水	5	様々な立場での生命論	馬 籠 信 之	2
7		9	水	6	討論	馬 籠 信 之	2,5

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

議論の内容を踏まえたレポートを作成し、その内容により評価する。

(レポート100%)

VII. 教科書・参考図書・AV資料

特に必要でない。

VIII. 質問への対応方法

授業中、あるいは、メール等で対応する。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポートにコメントを付して返却する。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

それぞれの授業ごとに「シラバス別冊」に記載した。

基本的には、以下のように想定している。

事前学習：提示してある設問に関する調査と回答作成（30分程度）

事後学習：授業内容のまとめと資料作成（30分～60分程度）

XII. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01, PR-03-01-02, GE-01-06-01, GE-03-06-01, RE-01-01-02, RE-03-01-01, RE-04-01-02, RE-04-01-03